

2022年度

**研究指導募集要項
一覽**

夜間主コース

教務課学部教務係

目次

経済学科 (Economics)

寺坂 崇宏.....	1
------------	---

商学科 (Commerce)

王 力勇.....	2
-----------	---

企業法学科 (Law)

小倉 一志.....	3
------------	---

社会情報学科 (Information and Management Science)

ジョーダン チャールズ.....	4
------------------	---

言語センター (Center for Language Studies)

西口 純代.....	5
------------	---

教員名 寺坂 崇宏

1. 研究主題

「データを使った経済や社会の分析」を研究主題とします。様々な経済社会の問題に対して、データと、統計学的な分析方法を使って、解決策や提言を出せるようになることを目標とします。

2. 指導要領

3年ゼミでは、現在起きている経済現象、経済問題、これらに関連する社会問題について、データを活用しながら勉強を進めていきます。あわせて、「統計学」やそれに関係する分野の方法による、データ分析の方法を、修得していきます。

4年ゼミ（卒論指導）では、3年次で勉強したことを生かして、卒業論文を作成していきます。

3. 指導テキスト及び参考書

メンバーが決まった後にテキストを選びます。1つは、現代の日本の経済について書かれているものを、もう1つは統計学に関連するもの（データ分析の実習のテキスト）を指定しようかと考えています。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

11月1日（月）～11月2日（火）、11月4日（木）～11月5日（金）の間で面接をします。小樽本校での対面による面接、あるいは、Zoomを使った面接を考えています。（対面による面接は、状況により、中止することがあります。）

5. 面接・テスト等の日時・場所

応募の手続きについて、教務課のアンケートフォームを通して当ゼミに応募しましたら、10月28日（木）17:30までに、寺坂宛のメールで、①学生番号、学科、氏名 ②対面による面接、Zoomによる面接のどちらを希望するか？③11月1日（月）～11月2日（火）、11月4日（木）～11月5日（金）で面接のできる時間帯はいつか？の3点を連絡してください。①～③はメールの本文に記載してください。メールのタイトルは 寺坂ゼミ応募 としてください。教員のメールアドレスは大学のHPから調べてください。折り返し、面接の日時および方法について、10月29日（金）までに連絡をします。教員からのメールを受け取れるように必要な設定をしておいてください。面倒な手続きで恐れ入りますが、面接の日時および場所の調整を速やかに進めるためにも、ご協力をお願いします。

経済と統計、あるいは統計学（昼間コース）の授業で扱う内容に対して、大きな抵抗がなければ、このゼミで卒業論文を執筆することは可能かと思えます。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ここに書いてあることを変更する場合や、追加の連絡があるときには、manaba コース「2022 年度ゼミ選考」の掲示板を通して、連絡をします。確認をお願いします。

教員名 王 力勇 (Wang, Liyong)

1. 研究主題

主にグローバル・マーケティングについて学修します。

2. 指導要領

ゼミの進め方は、開講時に学生と相談して決めたいと思いますが、現在のところ次のように考えています。

3年次の前期には、グローバル・マーケティングの理論を中心にテキストを輪読し、グループ・ワーク（プレゼンテーション、ディスカッション）を行います。3年次の後期には、グローバル・マーケティングの事例を分析し、グループ・ワークを行います。

4年次には、各自或いはグループでプロジェクト研究を行います。

3. 指導テキスト及び参考書

小田部 正明, 栗木 契, 太田 一樹「1からのグローバル・マーケティング」(2017) 碩学舎
小田部 正明, K. ヘルセン, 栗木 契 「国際マーケティング」(2010) 碩学叢書
ご希望に合わせて変更の可能性があります。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

「志望理由書」及びオンライン面接（Zoom）によって選考する予定です。

「志望理由書」は電子メールの添付ファイル（word/PDF）にて下記まで提出して下さい。

(wangly-frank@res.otaru-uc.ac.jp)（締切：11月5日（金曜日）24時）。

「志望理由書」には、①なぜこのゼミを選択したのか、②このゼミでどのような勉強をしたいのか、挑戦したいことなど、③4年次に卒業論文（4単位）を履修する予定があるのかなどを書いて下さい。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接は11月8日～12日の間に予定しております。日程が決まり次第、面接のZOOMリンク等の詳細を含め志望者の皆様にメールなどにて通知します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

マーケティング関連科目を履修済み（又は履修中）であることが望ましいです。

なお、初めてのゼミ指導（第1期）なので、皆様と話し合いながら進めていきたいと考えております。

教員名 小倉 一志

1. 研究主題

憲法学の基本的な論点に関する学説・判例を学修します。

2. 指導要領

ゼミの進め方は、開講時に学生と相談して決めますが、現在のところ次のように考えています。

- ①参加メンバーを2、3人単位でグルーピングする。各グループは与えられたテーマについて学説・判例の調査・資料収集を行い、レジュメを作成し、発表を行う。
- ②その発表を基に、質疑応答を行う。特に、発表を担当しない側のグループは積極的に質問することが求められる。当然、教員も質疑応答に参加する。

3. 指導テキスト及び参考書

芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法[第7版]』(岩波書店・2019年)・六法は、毎週、必ず持参すること (「手ぶら」で来ても出席とは見なされないので注意すること)。それ以外のテキストを追加購入してもらうか否かについては、開講時に学生と相談して決定します。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

「面接」および学生各自が作成した「志望理由書」などにより選考 する予定です。「志望理由書」は電子メール(word 形式で作成した文書ファイルをメールで添付する方式)で提出 して下さい(e-mail: ogura@res.otaru-uc.ac.jp) (締切: 10月27日(水曜日)20時)。

「志望理由書」には、①なぜこのゼミを選択したのか、②このゼミでどのような勉強をしたいのか、③卒業論文で扱ってみたいテーマ(可能であれば、その内容も)などを書いて下さい (それ以外の内容を自由に追加して構いません)。最低1200字は書くこと。

また、④既に履修済みの法律科目・現在履修中の法律科目についても書いて下さい。

応募者の状況により、1次募集と2次募集に分けて選抜を行うこともあり得ます(1次募集で全員決定するとは限りません)。しかし、このゼミを希望される方は、1次募集の段階から応募されることを強く推奨します。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日時・場所については、追って連絡します(メールチェックを怠りなく)。現段階では、11月10日(水曜日)のゼミの時間帯(6講目・7講目)を考えています。面接の実施方法(Zoom or 対面)については、現段階では未定です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・ 9月28日(火曜日)に予定されている「研究指導オリエンテーション」には、必ず出席すること。
- ・ ゼミの性質上、毎回出席することが成績評価の前提となります(正当な理由のない欠席は認めません)。その上で、ゼミにおける発言・報告内容などにより総合的に評価します。
- ・ 受入予定人数は10人程度を考えています。
- ・ 学生同士が自由かつ活発に議論できるゼミになればいいなあ、と思っています。
- ・ 夜間主コースのゼミですので、オープンゼミは予定しておりません。ここ暫く、連続して夜間主ゼミを担当していますので、ゼミの雰囲気を知りたい方は、先輩達に聞いてみてください。

教員名 ジョーダン チャールズ

1. 研究主題

[離散アルゴリズム]

20世紀から世の中の様々な分野の問題に計算機とプログラムを応用し、重要な課題を効率よく解決することが普通になってきた。私の研究がその基礎になる離散アルゴリズムの理論的な課題から実際の課題解決の応用的な課題まで含む。したがって、このゼミでは離散アルゴリズムの基礎から応用まで研究テーマにする。具体例として、

- 実際の問題を理解して、高速アルゴリズムの利用で解決する
- 高速アルゴリズムの実装(プログラミング)や比較
- 従来アルゴリズムの改善とその評価
- 離散アルゴリズムの理論的な課題
- スポーツ等における最適化

が挙げられるが、学生の希望と興味によって決まる。

2. 指導要領

3年次は輪講の形で教科書や関連論文等を理解して、基礎的な知識と近年の応用を学習する。各学生は自分が担当する部分のプレゼンテーションを行なって、皆で議論しながらアルゴリズムの学習をする。3年後期は自分の研究テーマを決めることに向かって、関連する論文等を調べる。

4年次は卒論に向かって卒論研究の進達について定期的にゼミで報告する。

3. 指導テキスト及び参考書

適宜指示する。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

以下の内容をA4用紙1~2枚程度で作成し、10月27日までにWordかPDFとしてskip@res.otaru-uc.ac.jpに提出してください。

1. 簡単な自己紹介
2. このゼミを希望する理由
3. 情報・アルゴリズム・計算の応用等に関する興味のある話題や分野
4. 卒論研究のテーマや興味分野に関する考え

形式は自由です。その内容について面接を行なって面接で決める。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の形(対面・Zoom)と日程は希望者と調整するので、上記提出した後定期的にメールを確認すること。

11月1日までに面接の連絡をする

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- 受入予定人数は10人程度を予定している
- 今年度着任のためこのゼミは今年から始まる
- ゼミは原則として毎回出席すること
- 自分で研究テーマを決めたい学生は大歓迎だが、特にない場合は選択肢を提供する

教員名 Sumiyo Nishiguchi

1. 研究主題

Linguistics (formal semantics)

2. 指導要領

The central area of study is analyzing the meaning of language. Currently the evening seminar consists of two separate research groups.

- Linguistics+ group: Wednesday 6th periods

During spring vacation, students select and read an introductory book written in English. The seminar starts with students' presentations on the book reviews. Then eventually they conduct studies on their own topic.

- Computer science group: Thursday 6th periods

This is a separate autonomous group of computer scientists studying natural language processing, programming, web design app/video making and so forth.

Members are encouraged to attend the 33rd European Summer School in Logic, Language and Information (ESSLLI) to be held in Ireland, between Aug 8-19, 2022 on their own expense.

Supervisor's HP: <http://www.res.otaru-uc.ac.jp/~nishiguchi/>

Lab members' HP: <https://otarupippi.github.io/july30/hpSecond.html>

3. 指導テキスト及び参考書

- Daniel Altshuler, Terence Parsons and Roger Schwarzschild, *A Course in Semantics*, MIT Press, 2019
- Kenneth Arrow, Amartya Sen and Kotaro Suzumura, *Handbook of Social Choice and Welfare*, Elsevier, 2010.
- Steven Bird, Ewan Klein, and Edward Loper, *Natural Language Processing with Python: Analyzing Text with the Natural Language Toolkit*, O'Reilly, 2009.

4. 選考の方法（面接・テスト等）

Interview on Zoom.

5. 面接・テスト等の日時・場所

Interviews will take place on Zoom between November 1, Mon and November 5, Fri.

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

Send an email to:

nishiguchi@res.otaru-uc.ac.jp

with a subject line ``seminar''. Include the following information: your student ID, name, email address, research interest and available time slots for interview.

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

- Linguistics+ group: Oct 6, 13, 20 Wed, 5:45pm-7:15pm
- Computer scientists group: Sep 30, Oct 7, 14, 21 Thu, 6pm-7:30pm